

## 県立伊奈学園中学校における令和7年度使用教科用図書調査研究資料

## 【調査の趣旨】

将来、社会の各分野でリーダーとして活躍し得る人材の育成を目指し、入学者選考を行う中高一貫教育校として、一定以上の能力と努力を前提に学習意欲や学習に対する理解力が高い生徒の実態に応じた学習を行う上で、どのような点で効果的に学習が進められる教科書であるか。

## 【調査の観点】

伊奈学園中学校の教育方針・教育目標の視点（中高一貫校の特色を含む。）を踏まえ、以下の観点で調査研究を行う。

## ○ 各教科

- (ア) 知識及び技能が習得されるようにするための効果的な工夫がなされていること。
- (イ) 思考力、判断力、表現力等を育成するための効果的な工夫がなされていること。
- (ウ) 学びに向かう力、人間性等を涵養するための効果的な工夫がなされていること。

## 【国語】

No.	発行者の略称	調査研究結果
1	東 書	<p>(ア) 「広がる言葉」では、作品中の表現と関連する言葉を学ぶことができ、語彙を豊かにするための工夫がされている。文法は、「文法の窓」で、教材を通して楽しく学ぶことができ、「文法解説」で文法事項を体系的に整理して学べるバランスのよい構成となっている。</p> <p>(イ) 「言葉の力」で学習内容を視覚化し、言葉だけでは捉えにくい学習用語の理解を助けて、思考しやすくしている。また、「読むこと」で習得したことを「話すこと・聞くこと」で活用する構成となっており、領域間の関連が図れるようになっている。</p> <p>(ウ) 「未来への扉」、「学びを支える言葉の力」で、未来を考えるテーマや日常生活での言葉の使い方や話の聞き方・伝え方、情報の扱い方がイラスト等でまとめられている。問題解決的な言語活動が複数設けられ、生徒同士で協働して主体的に学べるよう工夫がされている。</p>
2	三省堂	<p>(ア) 「学びの道しるべ」に、この教材文では学習内容を習得するために何を押さえるのかが簡潔に書かれている。「語彙を豊かに」で多様な観点から語彙を豊かにするよう工夫がされている。</p> <p>(イ) 「読み方を学ぼう」で、読みの方略を学べる内容となっている。「思考の方法」で、思考ツールを活用して学習内容を視覚化しやすいよう工夫されている。また、各教材文を通して何を学ぶかが明確になるよう工夫されている。</p> <p>(ウ) 学習の見通しが持てるよう教材ごとに「学びの道しるべ」が設けられている。巻末の「読み方を学ぼう」により、学んだことの振り返りができるよう工夫されている。巻末の資料が多く、</p>

		特に「話す、聞く、書く」内容を学習する上で役に立つ工夫がされている。
3	教 出	<p>(ア)「みちしるべ」に、この教材文では（学習内容を習得するために）何を押さえるのかが簡潔に書かれている。言語教材では、単元内に「言葉の小窓」、「文法の小窓」が配され、日常の言語生活から言語の存在や機能に気付く導入が図られている。</p> <p>(イ) 学年冒頭の「話すこと・聞くこと」として、コラム教材でペアやグループで短時間に行える活動が設けられている。対話的な学習の大切さを実感できる工夫がされている。「スピーチの例」では、参考となる表現モデルを示して、学習の可視化がされており、学習の助けとなる工夫がされている。</p> <p>(ウ) 自覚的な学びをいざなう工夫がされている。例えば、「読むこと」では、「目標→学びナビ→本文→みちしるべ→振り返り」という構成になっており、「目標」に対応した「振り返り」を確実に行えるようになっている。</p>
4	光 村	<p>(ア) 語彙に関わる部分を「言の葉ポケット」に集約することで、教材の文脈と結び付いた語彙指導が体系的に行えるよう工夫されている。情報に関する学習は他の教材と関連させながら系統立てて配置されている。</p> <p>(イ) 「学びへの扉」や「話すこと・聞くこと」、「書くこと」では、学習の流れの部分が挿入され、一貫して他の情報と区別されることで、何をどのように学ぶのかが捉えやすいよう工夫されている。「学びのカギ」を見ることで、学習内容を明確に理解できるよう工夫されている。</p> <p>(ウ) 「学習の見通しをもとう」で学習内容の重点が色別で示されている。「学びへの扉」で、学習の見通しを持たせるよう工夫されている。また、巻末に『「学びのカギ」一覧』を設け、基本的な観点を示し、振り返りができるよう工夫されている。</p>

【書写】

No.	発行者の略称	調査研究結果
1	東 書	<p>(ア) 文字を書くためのポイントが「書写のかぎ」として位置付けられ、課題を明確にする工夫がされている。</p> <p>(イ) 学んだことを実生活に生かすための単元が設定されており、表現活動に取り組むことができるように工夫されている。</p> <p>(ウ) 生徒が実体験を基に書くことを振り返る目標になっている。</p>
2	三省堂	<p>(ア) 七つの過程が設けられ、単元が展開されている。具体的な字形例を基に、書き方のポイントが明確化されている。</p> <p>(イ) 「やってみよう」で、既習事項を実生活に生かす学習課題が単元ごとに設けられている。</p> <p>(ウ) 目標と振り返りが分かりやすく、生徒自身が学習の見通しを持ち学んだことを実感しやすい構成になっている。</p>
3	教 出	<p>(ア) 基礎・基本の定着を目指して単元が展開されている。楷書から行書への円滑な接続を意識した構成になっている。</p> <p>(イ) 教科間での横断的な学びを実感できるような課題が設定されており、学んだことが実生活に生きることを生徒が実感しやすい工夫がされている。</p> <p>(ウ) 基本単元は「考えよう」、「生かそう」で構成され、学習手順が明確化されており、振り返りから日常生活に生かす流れをつかみやすい構成になっている。</p>
4	光 村	<p>(ア) 全教材に「学習の鍵」が設けられ、基礎基本の定着のポイントが明確化されている。付録の「書写ブック」を用いて硬筆課題に取り組ませることで、毛筆での学習の定着につなげられるように工夫されている。</p> <p>(イ) 「考えよう」の活動を通して、文字を観察・比較することで、自ら学習のポイントを発見、意識できるよう構成されている。また、手書きの価値を考える単元が新設されたことや、文字の原理・原則を考える活動や話し合う活動が設定されている。</p> <p>(ウ) 全教材に目標及び振り返りが設定されており、学びの定着や生徒の変容を確かめられる構成になっている。</p>

【社会(地理的分野)】

No.	発行者の略称	調査研究結果
1	東 書	<p>(ア) 導入資料、学習課題、本文、「チェック＆トライ」の流れで構造化され、学習内容が定着できるように工夫されている。また、地理学習の基礎的な技能を系統的に習得する「スキル・アップ」と、身に付けた技能を活用するコーナーが設けられ、技能が定着できるよう工夫されている。</p> <p>(イ) 各章の章末部には多様な思考ツールを活用して学習内容を考察する「まとめの活動」が設けられ、思考を整理し、学びが深められるように工夫されている。また、各単元に「チェック＆トライ」が設けられ、「地理的な見方・考え方」を働かせて学習できるように工夫されている。</p> <p>(ウ) 「持続可能な開発目標」を取り上げ、現代的な諸課題を意識、理解しながら、学習を進められるように工夫されている。地域の課題や変容に注目する活動や地域の将来像を提案する活動が充実しており、主体的に社会の形成に参画する資質や能力を養えるよう工夫されている。</p>
2	教 出	<p>(ア) 学習コラム「地理の窓」や地理的な技能が確実に定着するよう「地理の技」コーナーが設けられ、「地理的な見方・考え方」を働かせた学びができるように工夫されている。また、写真や地図、グラフ等が大きく提示され、資料を活用しやすくなっており、技能を身に付けられるように工夫されている。</p> <p>(イ) 3分野間の関連箇所が示されており、各分野それぞれの「見方・考え方」の違いに気付かせることで、多面的・多角的に学習できるように工夫されている。また、各単元末に「学習のまとめと表現」が設けられ、思考を整理し、学びを深められるように工夫されている。</p> <p>(ウ) 世界・日本地誌では、多文化共生の姿や地域の伝統文化を大事にしている事例が取り上げられ、社会に関連付けて考察できるよう工夫されている。また、各編、各章のはじめに、章を見通した学習課題や働かせるべき見方・考え方が示されており、見通しを持って主体的に学習できるように工夫されている。</p>
3	帝 国	<p>(ア) 「技能をみがく」コーナーが設けられ、「地理的な見方・考え方」を働かせる上で必要な基礎的な技能が習得できるように工夫されている。また、「学習を振り返ろう」コーナーで各章の知識・技能を確実に定着させられるように工夫されている。</p> <p>(イ) 写真や図版、本文が密接に関連している。地理的事象の背景や因果関係を読み取ることができ、「地理的な見方・考え方」を働かせられるよう工夫されている。また、各章・節末の「学習を振り返ろう」では、単元を貫く問いに対して思考ツールを用</p>

		<p>いて、自分の考えを整理・構造化できるように工夫されている。</p> <p>(ウ)「未来に向けて」のコラムでSDGsへの関心を高め、社会に対し生徒自身がどう参画していくかを主体的に考えられるよう工夫されている。また、各部・各章のはじめに学習の見通しを持てるように「学ぶにあたって」が記述されており、主体的に学習に取り組めるように工夫されている。</p>
4	日 文	<p>(ア) 各小単元末に「確認」コーナーや「表現」コーナーがあり、基礎的な知識及び技能の定着が図れるように工夫されている。また、スキルUPでは、地理的分野の学習に必要な地理的技能が6種類に整理され、生徒の発達段階に応じて地理的技能を系統立てて習得できるように工夫されている。</p> <p>(イ) トライ・スキルUP・資料活用のコーナーで生徒が自分の言葉で表現できるようになっており、思考力・判断力・表現力等を養うことができるよう工夫されている。また、各単元末の「まとめと振り返り」や「議論してみよう」で単元を貫く問いや諸課題について、思考を整理し学びを深められるように工夫されている。</p> <p>(ウ) 「議論してみよう」や「持続可能な地域を目指して」のコラムで教科書全体を通して持続可能な開発目標という視点で考えることができるよう工夫されている。また、現代的な諸課題や伝統・文化、多様性などについて世界や日本で「今」起きている出来事を掲載しており、多様な地理的事象に対する理解を深めることができるよう工夫されている。</p>

【社会(歴史的分野)】

No.	発行者の略称	調査研究結果
1	東 書	<p>(ア)「チェック&amp;トライ」では、学習した知識を確認し、より深く定着を図ることができるよう工夫されている。身に付けた技能を活用するための「確かめよう」のコーナーが設けられている。</p> <p>(イ)「まとめよう」では思考ツールを用いた対話的な学習活動ができるように工夫がされている。「ふり返ろう」では、課題を確認しながら、歴史的な見方・考え方を働かせて思考・判断できるように工夫がされている。</p> <p>(ウ)人物コラムが豊富に掲載されているため、生徒の主体的な学びを促す工夫がされている。探究課題や探究ステップがあることで、見通しを持って学習に臨むことができるよう工夫されている。</p>
2	教 出	<p>(ア)「確認！」では本時の内容を振り返って、知識のより深い定着につなげることができるよう工夫されている。「学習コラム：歴史の窓」では、歴史的事象のより深い知識を学ぶことができるように工夫がされている。</p> <p>(イ)「THINK！」を用いて、資料を読み取る活動や考えを深める活動ができる工夫がされている。「表現！」では、学習内容を自分の言葉で説明し、対話することで、思考を深め、表現できるよう工夫されている。</p> <p>(ウ)導入資料や学習課題が提示されていることで、見通しを持って学習に臨むことができるよう工夫されている。「歴史学習の終わりに」のページでは、社会的な課題の解決に向けて、SDGsの目標を参考にテーマを設定するなどの工夫がされている。</p>
3	帝 国	<p>(ア)知識の定着を図るために、「確認しよう！」が見開きのまとめに設けられている。「地域史」というコラムを通じて、多面的・多角的に歴史を学ぶ工夫がされている。</p> <p>(イ)「TRY！」では、生徒の見方・考え方を働かせて、グループでの深い学びが実践できる工夫がされている。「説明しよう」では知識を活用し自分の言葉で表現できるように工夫がされている。</p> <p>(ウ)「とびら/導入」では、学習する時代の区切りを分かりやすく表しているため、見通しを持って学びに向かうことができるよう工夫されている。単元のはじめに、各時代の政治・経済・文化の内容について、イラストで視覚的に示すことによって見通しを持って、学習に臨むことができるよう工夫されている。</p>
4	山 川	<p>(ア)因果関係を重視したしっかりとした説明でありながら、分かりやすい記述になっている。「近代化」など高等学校での学習でも求められる概念を盛り込み、「用語解説」で解説しており、深い理解につながる工夫がされている。</p>

		<p>(イ) 様々なパターンの豊富な発問を通して、対話的な学びを促す工夫がされている。時期や理由、経緯や差異に注目できる発問が多く、グループ活動がしやすい工夫がされている。</p> <p>(ウ) 各章の最初には、日本と世界の出来事を帯年表で表し、視覚的に流れがつかめるよう構成されている。見開き冒頭には、その時間の学習内容を理解するための学習課題があり、見通しを持って学習に取り組むことができるように構成されている。</p>
5	日 文	<p>(ア) 年表と地図の連携がされているため、時間軸と空間軸の両面で知識の確認をすることができるよう工夫されている。「まとめとふり返し」では、小テスト形式で知識の確認ができるよう工夫されている。</p> <p>(イ) 「時代の特色」を考える活動があり、思考ツールの提案やいくつかのステップに分けた活動を提示することで、活動の流れが見えやすくなるよう工夫されている。各「節の問い」の答えを踏まえて、「章の問い」の答えをまとめる活動ができるように工夫されている。</p> <p>(ウ) 「学習の見通しをもとう」では、生徒が学習に見通しを立てて、自分の学習後の考えの変容を振り返る工夫がされている。導入ページで気付いたことを出し合い、章ごとの問いを生徒が自主的に考える取組ができるよう工夫されている。</p>
6	自由社	<p>(ア) 1回の授業を見開き1ページでできるようになっており、知識の定着ができるように工夫されている。導入資料や学習課題が提示されているため、生徒の知識理解・定着を図ることができるよう工夫されている。</p> <p>(イ) 「調べ学習のページ」では、資料を用いてより詳しく学びを深められる工夫がされている。「対話とまとめ図のページ」では、現在と歴史のつながりに着目し、歴史的事象について、対話的な学習を進められる工夫がされている。</p> <p>(ウ) 「知っ得ポイント！」では、歴史的事象を詳しく知ることができ、自主的な学びを促進させる工夫がされている。気付きを捉えさせるヒントや発問が多く提示されており、生徒が自主的に学習に取り組めるような工夫がされている。</p>
7	育鵬社	<p>(ア) 各単元に時代年表が示されていて、流れをつかみやすいよう工夫されている。「確認」、「探究」では、習得した知識を整理し表現しやすくする工夫がされている。</p> <p>(イ) 本文や資料と関連する活動について、「見方・考え方」、「資料活用」コーナーで取り上げられていることにより生徒のグループ学習をしやすくする工夫がされている。学習のまとめでは、時代の特色を自分の言葉で表現する学習活動が設けられている。</p> <p>(ウ) 「歴史ズームイン」では、より深められる内容が書かれており、</p>

		生徒の自主的な学習の促進につながるよう工夫されている。見通しを持ちやすくするために、資料を活用しながら問題解決的な学習活動ができるよう構成されている。
8	学び舎	<p>(ア)「章をふりかえる」では、各章の確認テストを実施することができ、知識の定着ができるような工夫がされている。資料の補足が充実しており、生徒の知識と理解を深める工夫がされている。</p> <p>(イ)「対話・討論にチャレンジ」では、生徒同士の話し合い活動を促進させるような工夫がされている。「歴史を体験する」では、体験的な活動を通して生徒の思考力や表現力を高めるための工夫がされている。</p> <p>(ウ)各単元の最初に、「なぜ」・「どのように」の視点で課題設定がされており、課題解決的な授業の取組がしやすくなるよう構成されている。各章の冒頭にて、学習する時代の様子が資料や写真で提示されており、どのような学びを行うのかを考察しやすくなるよう工夫がされている。</p>
9	令書	<p>(ア)教科書の内容が歴史の流れをたどるようになっており、流れが捉えやすくなるよう構成されている。巻末に資料がまとめられており、時代ごとの資料の比較がしやすいよう工夫されている。</p> <p>(イ)「考えよう」では授業の内容から生徒が話し合い活動ができるような「問い」が設定されており、学びを深める工夫がされている。思考チャートを活用することで、歴史的事象を様々な面から考えられるような工夫がされている。</p> <p>(ウ)年表から時代を見て、歴史的事象における様々な問いを生徒が自主的に考えることができる工夫がされている。「field work」では生徒が自主的に課題を設定し、多面的・多角的に考察できるように構成されている。</p>



【社会(公民的分野)】

No.	発行者の略称	調査研究結果
1	東 書	<p>(ア)「スキルアップ(9テーマ)」や、それを活用する「活動コーナー」が適宜設定され、資料の読み取り方や収集方法等、資料活用の技能を身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>(イ)各章最初に探求課題が示され、学習の見通しを持てるように工夫されている。思考ツールを使った学習内容の振り返りにより、思考力・判断力・表現力等が効果的に育成できるよう工夫されている。</p> <p>(ウ)各章で「導入の活動」として単元の狙いに主体的に迫れるように工夫されている。また、単元を貫く探求課題が示されており、見通しを持って主体的に学習できるよう工夫されている。</p>
2	教 出	<p>(ア)「公民の技(9テーマ)」や「THINK!」が適宜設定され、資料活用の技能を向上させるよう工夫されている。また、各章の導入では、社会の身近な例を写真やイラストで提示することで、知識を社会と結び付けて身に付けることができるよう工夫されている。</p> <p>(イ)「TRY(13テーマ)」によって、多面的・多角的な視点で学習内容について、思考・判断・表現できるように工夫されている。また、章の最後に、思考ツールを活用して考察して表現する「STEP」が設定されている。</p> <p>(ウ)各章のはじめに学習の見通しが持てるように問いが設定されており、主体的に学習できるように工夫されている。また、各章の最後の「学習のまとめと表現」によって、思考ツールも活用しながら、学習内容の振り返りを行えるようになっており、自らの学びを調整できるように工夫されている。</p>
3	帝 国	<p>(ア)思考ツール等の技能を紹介する「技能をみがく(6テーマ)」や、資料を読み取る手掛かりを示した「資料活用」の問いが適宜設定され、技能を身に付けられるよう工夫されている。また、単元を理解する上で重要となるキーワードを「解説」で適宜補足説明することで、知識の定着ができるよう工夫されている。</p> <p>(イ)「アクティブ公民(10テーマ)」で対話的に学びを深められるよう工夫されている。また、「学習を振り返ろう」では思考ツールを活用して学習が振り返られるように工夫され、思考力・判断力・表現力等が向上できるように構成されている。</p> <p>(ウ)各章の冒頭の「学習の前に」と末尾の「学習を振り返ろう」で、見通しと振り返りを生徒が行いやすいように構成されている。これにより、生徒が主体的に自らの学びを調整できるように工夫されている。</p>
4	日 文	<p>(ア)「情報スキルアップ(2テーマ)」、「資料活用コーナー」などで</p>

		<p>資料活用の技能を向上させられるよう工夫されている。また、章末では「まとめとふり返し」で知識・理解の定着が図れるように工夫されている。</p> <p>(イ)「アクティビティ (41 テーマ)」や「チャレンジ公民 (5 テーマ)」が設定され、現代社会の課題について考察・構想できるように構成されている。また、各単元で働かせる見方・考え方が明示されており、多面的・多角的な視点で思考力・判断力・表現力等が育成できるように工夫されている。</p> <p>(ウ) 各章の導入では学習内容を概観する漫画が掲載されており、見通しを持って主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。また、「明日に向かって (10 テーマ)」が設定されており、社会参画を意識させながら、主体的に学習できるように工夫されている。</p>
5	自由社	<p>(ア) 単元末に「ここがポイント！」が設定され、知識が定着できるように工夫されている。「やってみよう」が適宜設定され、調べ学習の視点が示されており、資料活用の技能を向上させるための工夫がなされている。</p> <p>(イ)「アクティブに深めよう (9 テーマ)」が設定されており、見方・考え方を働かせて思考・判断・表現できるように構成されている。各章末に「学習のまとめと発展」が設定され、章で学習したことを多面的・多角的に考察できるように工夫されている。</p> <p>(ウ)「もっと知りたい」というコラムが設定されており、生徒が主体的に学習内容を深く理解できるように工夫されている。また、各章末の「学習のまとめと発展」では、テーマを選択して既習事項を生かしてまとめる活動を通して、学習内容を主体的に振り返られるよう構成されている。</p>
6	育鵬社	<p>(ア)「スキルアップ (7 テーマ)」や「資料活用」が適宜設定され、資料活用の技能を高められるように工夫されている。また、「学習を深めよう」が適宜設定され、学習内容を補足する工夫がなされており、知識の定着を図れるように構成されている。</p> <p>(イ)「やってみよう (11 テーマ)」が適宜設定されており、見方・考え方を働かせて協働的な学びができるように工夫されている。小單元ごとに「確認」「探究」が設定され、課題に対する答えを記述できるように構成されており、思考力・判断力・表現力等を向上させる工夫がなされている。</p> <p>(ウ) 各章の始めに「入り口」で見通しを持たせ、章末の「これから」で見方・考え方を働かせて学習を振り返ることができるように構成されている。社会問題を自分事として捉えられるよう配慮されており、社会参画の視点を持たせながら、主体的な学びにつながるよう工夫されている。</p>

【地図】

No.	発行者の略称	調査研究結果
1	東 書	<p>(ア) 自然、産業、人口などの主題図を共通して掲載しているので、基礎的、基本的な知識を習得することができるよう工夫されている。日本の一般図では、全ての市町村名や主要な自然地名を掲載し、索引では全国の市町村名を探せるようになっている。</p> <p>(イ) 「Bee' s eye」の問いに取り組むことで、社会の在り方や自分の行動について考えたりすることができる工夫がなされている。地理的分野の学習のほかに、歴史的分野、公民的分野の学習とも連携した資料も掲載され、社会的事象を多面的、多角的に考察できるように工夫がされている。</p> <p>(ウ) 環境問題や防災、文化、平和などの諸課題に関わる資料を豊富に掲載しており、生徒の主体的に学習に臨む意欲を向上させる工夫がされている。関連したコンテンツに接続するためQRコードが設けられており、主体的に地図帳を活用することができるよう工夫されている。</p>
2	帝 国	<p>(ア) 「地図で発見！」から、地図の基本的な読み取りなどの技能定着に向けた工夫がされている。世界の生活や文化について世界地図と照らし合わせて掲載されており、知識の定着に対する工夫がされている。</p> <p>(イ) 資料が比較しやすいように作られており、地域ごとに特色を考察しやすくする工夫がされている。「地図で発見！」では、「社会的な見方・考え方」を働かせて、思考力、判断力、表現力等の育成につながる工夫がされている。</p> <p>(ウ) 地図帳の使い方を詳しく説明していることによって、生徒が主体的に地図帳を活用できる工夫がされている。QRコードを用いて関連したコンテンツに接続することができ、生徒が自主的に地図帳を活用できるように工夫されている。</p>

## 【数学】

No.	発行者の略称	調査研究結果
1	東 書	<p>(ア) 章の学習は、「Q」、「例」、「問」で構成されており、「問」も様々な種類の問題が出題されている。また典型的な誤答を「×まちがい例」として指摘する問題を通じて、深い学びにつながる工夫がなされている。「ちょっと確認」では既習事項のうち、つまずきの多い内容が確認できるように工夫されている。また設問ごとに、巻末「補充の問題」とのつながりが示されており、生徒の進度に応じて取り組める問題が設けられている。</p> <p>(イ) 各節の始まりや終わりにある「Q 考えてみよう」や「学びをふり返ろう」では、各節で働かせてほしい数学的な見方・考え方を示す工夫がされている。また「事柄・理由・方法」を説明させる活動や問題が多く取り上げられており、思考力・判断力・表現力等が高められるよう工夫されている。章末の「深い学び」では主体的・対話的で深い学びが実現できるよう、問題発見・解決の過程を重視した数学的活動が設けられている。</p> <p>(ウ) 各節の最初に、学習意欲を高めるための導入課題が設定されている。身の回りの問題を解決する活動から学習につながるように工夫されている。学習の内容の取扱いの順番にも工夫が見られ、「なぜその内容を学ぶのか」といった必要性が感じられる構成になっている。「数学のまど」や「数学×社会」では、学習した数学の有用性を実感しやすいように工夫されている。</p>
2	大日本	<p>(ア) 章の学習内容が、「考えよう」で単元についての問題提起を行い、「活動」、「例」、「例題」、「Q」で学習内容を身に付け、「プラス・ワン」で補充することができるように構成されている。節末「たしかめよう」、巻末「補充問題」では、本文参照ページが示され、振り返りができるように工夫されている。</p> <p>(イ) 巻頭「数学の世界へようこそ」では、問題発見・問題解決の流れ、数学的な見方・考え方が示されており、章内でも同様の流れに沿って問題解決の過程が提示されている。節内には、他者の考え方が妥当かを判断する問題「判断しよう」や、他者の考えの内容を説明する「伝えよう」が設けられている。</p> <p>(ウ) 導入では、新しい学習への興味・関心を引き出すように、身近な題材が扱われている。また、数学の面白さや楽しさを味わえるように、読み物「MATHFUL」が設けられている。巻末「課題学習」、「活用・探求」では、各章の学習を総合したり、日常生活や社会、他教科の学習と関連付けたりする課題が取り上げられている。</p>
3	学 図	<p>(ア) 章の学習内容が、「章のとびら」、「節のとびら」で問題を発見し、「Question」では生徒キャラクターの対話で問題解決方法</p>

		<p>の提示、「例」では適宜ノート形式の解答が示された「問」で構成され、「計算力を高めよう」を通して、基礎・基本を身に付けられるように工夫されている。典型的な誤答が「正しいかな？」で示されている。節末「確かめよう」では、本文参照ページが示され、振り返りができるように工夫されている。</p> <p>(イ) 巻末「見方・考え方をまとめよう」では、問題解決の際の思考の流れが整理されている。各節にある「どんなことがわかったかな」では、各節で働かせてほしい数学的な見方・考え方の問題が示されている。</p> <p>(ウ) 各節の最初には、学習する内容への興味・関心を引き出すために身近な題材が扱われている。章末「できるようになったこと」で学習を自己評価し、「さらに学んでみたいこと」で自分の言葉で記入できるように工夫されている。章末「数学へのいざない」では、身の回りで活用されている数学が掲載されている。</p>
4	教 出	<p>(ア) 単元の始まりに「学習する前に」があることで、新しい単元に関わる既習事項の確認ができるように工夫されている。また単元の終わりに「学習のまとめ」があることで、単元の振り返りがしやすいような工夫がされている。「たしかめよう」や「力をのばそう」を通じて多様な難易度の問題に取り組めるように工夫されている。</p> <p>(イ) 「みんなに説明しよう」といった問題が取り入れられていることで、数学的な見方・考え方を働かせるとともに、表現力を身に付けさせる工夫がされている。また「学んだことを活用しよう」を通じて、思考力を育む工夫がされている。</p> <p>(ウ) 単元の導入の「Let's Try」で、身近な題材が取り上げられ、学習意欲を高める工夫がされている。また、「数学の広場」を通じて、実生活と数学との関わりや、数学の歴史について触れる題材が充実しており、生徒が興味・関心を持ちやすいような構成になっている。</p>
5	啓林館	<p>(ア) 章の学習は「例」、「例題」、「問」、「練習問題」で構成されており、「問」や「練習問題」では様々な種類の問題が取り入れられている。「学びをたしかめよう」や「学びを身につけよう」を通じて、多様な難易度の問題に、反復して取り組めるような工夫がされている。</p> <p>(イ) 多くの節に「話しあおう」や「説明しよう」といった活動が設定されており、数学的な表現力や思考力が身に付くような工夫がされている。巻末の「学びをいかそう」では数学的な見方・考え方を働かせ思考する問題が設けられている。</p> <p>(ウ) 各学習内容が「ひろげよう」から始まっており、既習事項から新しい学習内容を学ぶといった学習の流れの工夫がされてい</p>

		<p>る。また、「数学ライブラリー」を通じて、学習した内容を実生活と結び付け、興味を引き出すような題材が多く設けられている。</p>
6	数 研	<p>(ア) 全ての章において既習事項の「ふりかえり」から始まっており、新しい単元を学ぶ上で必要な知識の確認ができるよう、丁寧に展開が構成されている。また「確認問題」では、本文中の参照すべきページが示されており、振り返りがしやすいように工夫されている。</p> <p>(イ) 対話形式で学習内容が展開されている。数学的な見方・考え方が示されるとともに、説明する問い掛けが多く設けられており、言語活動主体の問いが構成されている。また「学んだことを活用しよう」では一層数学的な見方・考え方を働かせる工夫がされている。</p> <p>(ウ) 「学んだことを活用しよう」や「やってみよう」、「調べよう」を通じて、実生活と学習内容の結び付きが示され、興味を引き出すような工夫がされている。また「ふりかえり」があることで、苦手意識を持っている生徒にとって、学習に取り組みやすいよう構成されている。</p>
7	日 文	<p>(ア) 章のはじめに「次の章を学ぶ前に」で既習内容を確認し、「章の扉」で学習内容の問題提起、章の学習は、「Q」、「例」、「問」で構成され、基礎・基本の定着のために、「まちがえやすい問題」が設けられている。節末「基本の問題」、巻末「補充問題」では、本文参照ページが示され、振り返りができるように工夫されている。</p> <p>(イ) 章の扉で示されている問題に対するキャラクターの対話や吹き出し部分には、働かせたい数学的な見方・考え方が示されている。節末にある「学びに向かう力を育てよう」や巻末「数学研究室」、「活用の問題」では、数学的な見方・考え方を働かせ思考する問題が設けられている。</p> <p>(ウ) 章末「学びに向かう力を育てよう」では、別冊の「振り返りシート」を使って、更に発展した問題を考えることができるように工夫されている。章末「数学のたんけん」、巻末「数学マイトライ」では、数学への興味が高まるように学習内容に関連したコラムや課題が扱われている。</p>

No.	発行者の略称	調査研究結果
1	東 書	<p>(ア) 単元の始めや本文に「これまでに学んだこと」を配置し、既習事項が想起できるように工夫されている。関連事項に「参照ページ」を付し、知識のつながりや、科学的な概念を形成できるように工夫されている。つまずきやすい内容に「例題」、「練習」が設定され、「考え方」が丁寧に解説されている。公式や重要事項には「ここがポイント」が設けられ、ポイントを押さえられるよう構成されている。</p> <p>(イ) 「問題発見」、「仮説」、「構想」、「分析・解釈」、「検討・改善」など、探究の過程に直結した活動を配置し、科学的な思考力、判断力、表現力等が自然に育成できるように構成されている。観察・実験において、手順と結果を同一見開き上に配置せず、生徒が自ら規則性を見い出して理解できるように工夫されている。「振り返り」、「活用」、「じっくり探究」の活動が設定されており、探究の過程の妥当性を考え、学びが広げられるよう工夫されている。</p> <p>(ウ) 巻頭や各単元・各章・各節の導入などに、身の回りの事象について考えさせる場面が設けられている。各単元・各章の学習の前後に同じ問い掛けが設定され、学ぶ意味や有用性、生徒自身の成長を実感できるように工夫されている。各節の導入に「問題発見」が設定され、問題に気付き、目的意識を持って主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。</p>
2	大日本	<p>(ア) 「基本操作」は図や写真で手順が示され、観察・実験でよく用いる器具の基本的な技能が身に付くように工夫されている。観察、実験で操作のポイントが「コツ」として示され、基本的な技能が身に付くように工夫されている。「章末問題」、「まとめ」、「単元末問題」が掲載され、基礎的・基本的な知識の定着ができるように工夫されている。つまずきやすい問題は「例題」が掲載され、繰り返して定着を図りたい箇所は「演習」が掲載されている。</p> <p>(イ) キャラクターの問い掛けや発言などをヒントにして、生徒が自分なりに考えながら探究し、思考力、判断力、表現力等が育成できるように工夫されている。「結果から考えよう」が設けられ、考察するポイントが提示され、次の見開きのページに結果の例が示され、考察する力が養えるよう工夫されている。「読解力問題」では学んだことを活用して考えたり、表現したりする問題が掲載され、思考力、判断力、表現力等を育成できるように工夫されている。</p> <p>(ウ) 写真やイラスト、資料が掲載され、教科書全体を通して生徒の</p>

		<p>興味・関心を高め、自然の事物・現象に意欲的に関わろうとする態度が育まれるよう工夫されている。「探究活動」で学習した単元に関連するテーマが紹介され、生徒自身が探究を進められるよう工夫されている。</p>
3	学 図	<p>(ア) 単元末の「学習のまとめ」に、基本的な知識の確認や基本問題を解く活動が用意されていて、知識の確実な定着ができる構成になっている。「探究」の手順や「基本操作」で、観察・実験の基本的な技能が示され、安全な操作のための注意点が分かりやすく示されている。</p> <p>(イ) 各単元で設定された「探究」で、様々な仮説を検証するための「計画」や、結果を分析、解釈する「結果から考察する」などの場面が設けられ、科学的な思考力・判断力・表現力等が育成できるような構成になっている。話し合いを重視した学習活動が設定されており、結果を整理して分析・解釈する力や表現する力が育つように工夫されている。</p> <p>(ウ) 巻頭のガイダンス「理路整然」では、探究的な学習における学習の流れが示されており、生徒一人一人が主体的に学習を進める意義と方法を理解できる構成になっている。コラム「理路整然」で、対話の重要性が丁寧に解説されている。「学びのあしあと」では、単元の学習の前後に自分の考えを書く活動が設けられており、単元の学習を通じた自分の成長を実感できる構成になっている。</p>
4	教 出	<p>(ア) 「結論を示す」で習得すべき基礎的・基本的な知識が明確に示され、生徒が理解しやすいよう工夫されている。「要点と重要用語の整理」、「基本問題」、「活用問題」が設けられ、基礎的・基本的な知識や技能を習得できるよう工夫されている。「基礎技能」で器具の使い方などが示され、目的に応じた器具や機器などを扱い、基礎的・基本的な技能を習得できるように工夫されている。</p> <p>(イ) 第1学年では自然の事物・現象に進んで関わり、それらの中から問題を見出す活動、第2学年では解決する方法を立案し、その結果を分析して解釈する活動、第3学年では探究の過程を振り返る活動などに重点が置かれ、3年間を通じて科学的に探究する力の育成を図ることができるよう構成されている。</p> <p>(ウ) 「考察する」、「観察（実験）から」で観察、実験で得られた結果を基にした考察が示されており、予想と結果の一致・不一致を考え、科学的に課題を解決できるよう工夫されている。観察、実験の結果が自分の予想と一致しなかった場合も取り上げ、生徒が自分の考えや調べ方を確認したり、見直したりすることの大切さを実感できるよう工夫されている。</p>



5	啓林館	<p>(ア) 観察、実験から導き出された考察、結論が「観察（実験）から」で始まるまとめの文章で示され、読んで理解できる構成になっている。各章末の「ふり返ろう①」では、その章で学習した基礎的・基本的な問題が掲載されており、知識や技能が確実に定着する構成になっている。単元末に「学習のまとめ」では、単元全体の基本事項の確認や整理ができるように工夫されている。観察、実験の基本的な技能が「観察（実験）のスキル」、「サイエンス資料」で示され、着実な定着が図れるように工夫されている。</p> <p>(イ) 「考えてみよう」、「発表してみよう」、「活用してみよう」など思考したり表現したりする活動の場面が豊富に用意されている。全体で探究的な学習過程が重視されており、計画を立てる力や結果を整理して分析・解釈・表現する力が育つように工夫されている。「ふり返ろう②」では、その章で学習した内容を文章で表現する問題になっていて、表現力を養えるように工夫されている。</p> <p>(ウ) 巻頭の「ガイダンスページ」で、科学的に探究することの意義や探究の進め方が示されており、科学的に探究しようとする態度が育つように工夫されている。単元、章、節の導入に、興味深い写真・資料が提示され、学習意欲が喚起されるように工夫されている。学習を進めると導入の現象の仕組みが分かるように構成されていて、自然の美しさや精妙さを感じることができるように工夫されている。</p>
---	-----	--

## 【音楽（一般）】

No.	発行者の略称	調査研究結果
1	教 出	<p>(ア) 歌唱教材では、表現方法のポイントが示されている。「Let' s try! 指揮をしてみよう」では、指揮をする際の基礎的な知識及び技能について説明がある。「Sing! Sing!」では、歌うためのアドバイスがある。それぞれの学習内容で効果的に知識及び技能が習得できるよう工夫されている。</p> <p>(イ) 「ACTIVE!」ではそれぞれの曲の特徴を、音楽を形作っている要素ごとに調べて書く形式になっている。調べた内容を交流して説明し、交流を通して気付いた点を考えることで、学習を深められるよう工夫されている。</p> <p>(ウ) 音楽科の学習をバランスよく支えて見通せる「学習 MAP」がある。領域・分野ごと（歌唱・鑑賞・創作）に表示され、教材名と領域・分野の相互のつながりが意識できるよう工夫されている。共通事項を軸にした「学習の進め方」が提示されており、学習の見通しが持て、主体的に学習に取り組める工夫がされている。</p>
2	教 芸	<p>(ア) 曲想と音楽の構造などとの関わりについての気付きや理解を促す内容のキャラクターの吹き出しが適切に配置され、学習目標や学習活動との結び付きが理解できるよう工夫されている。</p> <p>(イ) 「思考、判断、表現」を行うためのヒントが示されているほか、思考した内容を記述する活動が設定されている。作品例やワークシートを掲載するなど、手順が理解できるよう工夫されている。</p> <p>(ウ) 1年間の学習の見通しを持つことができる「学びの地図」や、1年間の学習を振り返ることができる「学びのコンパス」がある。「音楽を形づくっている要素」、「音楽の学びを振り返ろう」のページがあり、主体的に学習に取り組める工夫がされている。</p>

【音楽(器楽合奏)】

No.	発行者の略称	調査研究結果
1	教 出	<p>(ア) 教科書前段〈演奏の仕方を身につけよう〉で、各楽器、見開き左上に題材が表してある。統一性があることで、生徒が知識・技能を効率的に身に付けるための工夫がされている。</p> <p>(イ) 「まとめの曲」が示され、表現の工夫が見て取れるよう工夫されている。「表現の仕方を調べてみよう」で、これまで学習した楽器の音の出る仕組みや表現する旋律の特徴などに着目し、「話し合おう」を活用して思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。</p> <p>(ウ) 巻頭に、これから演奏する楽器や鑑賞をする楽器などを見開き全体に示され、口絵に、演奏家からのメッセージが掲載されている。見やすい資料とメッセージにより、音楽を愛好する心情が育てられるよう工夫されている。</p>
2	教 芸	<p>(ア) 曲想と音楽の構造などとの関わりについての気付きや理解を促す内容のコラムや「Q&amp;A」、キャラクターの吹き出しが適切に配置され、学習目標や学習活動との結び付きが理解できるよう工夫されている。</p> <p>(イ) 「学びのコンパス」で、曲に対する自分の考えを持ち、友達との意見交流を通して器楽の学習を深めることができるよう工夫されている。</p> <p>(ウ) 器楽の学習の見通しを持つことができる「学びの地図」(学習内容の見取り)が設けられており、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。</p>

【美術】

No.	発行者の略称	調査研究結果
1	開隆堂	<p>(ア) 各題材の「学習の目標」に「知識や技能に関する目標」が示されている。各題材の学習に必要な知識や技能が、図版や「美術の用語」で提示されている。巻末の「学びの資料」に題材横断的な知識や技能が系統的に示され、効率よく多様な題材の学習に対応できるように工夫されている。</p> <p>(イ) 各題材の学習で「発想や構想に関する資質・能力」及び「鑑賞に関する資質・能力」を育むための学習方法が示されている。各巻末の「学びの資料」に「発想・構想」や「鑑賞」の参考となる内容が提示されている。</p> <p>(ウ) 各巻頭に美術を学ぶ意味や態度について考えるページが設定されている。各学習領域の最初に扉のページが設けられ、それぞれの学習に向かう姿勢を考えることができるよう工夫されている。</p>
2	光村	<p>(ア) 全ての題材に知識及び技能に関わる目標が示されている。「学習を支える資料」には美術史に関わる資料などが掲載されているとともに、関連する題材ページには資料へのリンクが示されている。生徒が知識及び技能を習得・活用しやすいよう構成が工夫されている。</p> <p>(イ) 「みんなの工夫」で生徒の制作における思考の過程が紹介されている。生徒作品に添えられた「作者の言葉」やアイデアスケッチなども掲載されている。生徒が発想や構想を広げ深められるよう工夫されている。</p> <p>(ウ) 「美術の力」や「うつくしい！」などから、豊かな感性や思いやりを育み、美術の学びを人生や社会に生かすことができるよう工夫されている。生徒作品に添えられた「作者の言葉」などから、粘り強く学習に取り組む態度が育まれるよう工夫されている。</p>
3	日文	<p>(ア) 題材の冒頭にある「鑑賞の入り口」の問い掛けや、作品別の「造形的な視点」という吹き出しによって、掲載作品から感じたこと、気付いたことを意識させ、活動と知識が結びつくよう工夫されている。</p> <p>(イ) 「表現のヒント」として主題を生み出す視点が示されている。発想や構想の手立てとなり、考力・判断力・表現力等の育成につながる工夫が見られる。また、題材ページに鑑賞活動を促す情景写真が掲載されていて、生徒が作品や友だちの活動等に対して、良さや美しさを感じ取ったり考えたりすることができるように工夫されている。</p> <p>(ウ) 生徒が主体的に学ぶことでできるように、「学びの目標」で分</p>

		かりやすい言葉で示されている。学習の意欲が高まるように「美術との出会い」や「学びの探求と未来」、「学びの実感と深まり」と題した資料を掲載する工夫が見られる。
--	--	--

【保健体育】

No.	発行者の略称	調査研究結果
1	東 書	<p>(ア) 巻末スキルブックには、保健分野の技能を始め、命や健康を守るために必要なスキルが写真やイラストとともに分かりやすく示されている。</p> <p>(イ) 各単元の活動「見つける」、「学習課題」、「課題の解決」、「広げる」はそれぞれの段階に応じて、思考力、判断力、表現力等を育成できるような発問が用意されている。</p> <p>(ウ) 各単元の「広げる」には、学習した内容を日常生活に当てはめて考える活動が設定されている。</p>
2	大日本	<p>(ア) 本文を左ページ、資料を右ページに分けた構成になっている。各章末に関連する資料が例示されており、生徒の知識理解に対して参考になる工夫がされている。</p> <p>(イ) 各内容に、「調べてみよう」や「話し合ってみよう」、「活用して深めよう」が設定されており、課題の発見、解決に向けた話し合いなど協働的な学習が展開できるよう工夫されている。</p> <p>(ウ) 「学習のまとめ」では、学習を踏まえて自他の生活を見直したり、社会の在り方を考えたりする活動が設定されている。</p>
3	大修館	<p>(ア) イラストやグラフ、実習ページなどが豊富に用意されている。各章末に「章のまとめ」では、確認問題が用意されており、理解度を生徒自身が確認することができるよう工夫されている。</p> <p>(イ) 「つかむ」、「身につける・考える」、「まとめる・振り返る」の三つのステップで構成されており、課題解決的な学習を通して、思考力、判断力、表現力等を育成できるよう工夫されている。</p> <p>(ウ) 「章のとびら」では、中学生の日常生活を中心に写真が随所に配置され、中学生が抱く疑問が用意されており、学習課題を自分事として捉えられるよう工夫されている。</p>
4	学 研	<p>(ア) 「課題の発見」、「学習の課題」、「課題の解決」、「学びの活用」で構成されており、教科書に示されているキーワードを基に学習の見通しを持ちながら、習得した知識を活用できるよう工夫されている。</p> <p>(イ) 紙面の構成自体が課題解決的な学習の進め方を示しており、全ての内容に、ウォームアップの問題が提示されており、自分を客観的に見ることや、協働学習がしやすい工夫がされている。</p> <p>(ウ) 教科書の右下に「とりくメーカー」が設定されており、生徒自身が学習に対して主体的に取り組めたかを自己評価できるよう工夫されている。</p>

【技術・家庭（技術分野）】

No.	発行者の略称	調査研究結果
1	東 書	<p>(ア) 技術の原理・法則や基礎的な技術の仕組みについて、図を用いて分かりやすく掲載されており、理解を深められるように工夫がなされている。</p> <p>(イ) 各編の最終章に、問題の発見から製作後の評価・改善までの問題解決の一連のプロセスを示したワークシートの記述例があり、生徒が思考・判断・表現をしやすいように教師が取り組ませるための適切な補助がなされている。</p> <p>(ウ) ガイダンスにある「技術のめがね」、「最適化の窓」を通して、生徒が技術を通した社会との関わり方が示されており、主体的に社会に関わろうとする態度を養うための工夫がされている。</p>
2	教 図	<p>(ア) 別冊「スキルアシスト」の冊子に日常的に活用しやすい知識・技能がまとめられており、確かな技能を身に付けるための工夫がされている。</p> <p>(イ) 設計・計画シートや計画・育成シートが巻末に添付されており、生徒が思考・判断・表現をしやすいよう工夫されている。</p> <p>(ウ) 各編の章末には社会と関連させた内容が掲載されており、生徒が自分事として捉え主体的に取り組もうとする態度を養うための工夫がされている。</p>
3	開隆堂	<p>(ア) 日常生活で触れている事物に対する気付きについて取り上げることで、社会や環境と技術の関わりについて理解を深められるような工夫がなされている。</p> <p>(イ) 各項目について学習課題と振り返り（CHECK）が配置されており、実践を通して生徒が思考・判断するための学習の流れを意識した構成の工夫がなされている。</p> <p>(ウ) 「やってみよう」の項目を通して、学習した技術が社会でどのように活用できるのか対話的に考える場を設けられるようになっており、生徒が主体的に社会に関わり取り組もうとする態度につながるような工夫がなされている。</p>

【技術・家庭（家庭分野）】

No.	発行者の略称	調査研究結果
1	東 書	<p>(ア) 各節末に「生活に活かそう」、「まとめよう」の欄が設けられており、生徒が意識的に知識・技能の習得に取り組み、定着することができるような工夫がされている。</p> <p>(イ) 巻頭で問題解決的な流れと具体例が示されているとともに、全体を通してそのプロセスを意識した構成となっており、生徒が思考・判断・表現を自ら行っていけるような工夫がされている。</p> <p>(ウ) 各章の始めには学習内容の全体像や学習の目的、見方や考え方が示されており、よりよい生活をつくろうとする態度を身に付けることができるような工夫がされている。</p>
2	教 図	<p>(ア) 各項目について、目当てとそれに対する振り返りが配置されており、生徒が意識的に知識・技能の習得に取り組み、定着することができるような工夫がされている。</p> <p>(イ) 「見つめる」、「見つめてみよう」、「考えてみよう」などの項目を通して、生徒が学習内容を自分事として考え、自分の価値観について考えられるような工夫が全体を通してされている。また、記録レポートの様式や取組の例が示されており、生徒が実践的に取り組み、考えられるための補助がなされている。</p> <p>(ウ) 身近な生活で実践できる内容だけでなく、国際的なものも含めた社会の問題をコラムとして取り上げて適切に配置されており、様々な事柄を自分事として考えられるような工夫がされている。</p>
3	開隆堂	<p>(ア) 実習の手順が見開きのページにまたがって配置されており、生徒の視線等に配慮した配置の工夫がされている。また、その手順だけでなく科学的根拠が読みやすいQ A方式で示されており、知識・技能定着のための工夫がされている。</p> <p>(イ) 生活の中でその学習項目が持つ役割について考え、判断させるような問いが配置されており、生徒が思考・判断するきっかけを作るような工夫がされている。</p> <p>(ウ) 生徒にとってよくありそうな具体的な生活の場面を取り上げ、自ら課題感を持ってP D C Aサイクルを回そうとする態度が育つような実践例や視点が示されている。</p>



【英語】

No.	発行者の略称	調査研究結果
1	東 書	<p>(ア) 「Grammar for Communication」では、単元内で新出した文法事項について系統的にまとめられており、基礎・基本の定着を図れるよう構成されている。また、各単元の「Preview」では文法を使う「目的・使用場面・状況」を理解することができるよう、映像を見ながら生徒に気付きを促す構成になっている。</p> <p>(イ) 「Real Life English」では、学習を通して習得した表現を用いたの自己表現活動や、ペアやグループでの対話活動が展開できるよう工夫されている。また、「Stage Activity」では、複数の技能・領域を統合的に活用し、自己表現活動ができる構成になっている。</p> <p>(ウ) 授業以外でも英語の音声や映像が視聴できるようQRコードが記載されており、生徒の自主的な学習を促進できるよう工夫されている。また、内容についても、SDGsや日本のポップカルチャーについてなど、多岐にわたり生徒が興味を持って臨むことができるよう題材が工夫されている。</p>
2	開隆堂	<p>(ア) 各単元の冒頭部で、単元内で習得を目指す文法について明示されており、生徒は見通しを持って学習に取り組むことができるよう構成されている。また、「Scenes」で基本的な新出文法について取り上げられており、生徒が自然なやり取りができる構成となっている。「Program」の最後には、「英語早わかり」というページで文法事項が整理されており、生徒が確実に知識・技能を習得できる工夫がなされている。</p> <p>(イ) 各プログラムに「Retell」という本文の内容を段階的に整理し、自分で再話する自己表現活動が設定されており、表現力・判断力の育成に効果が得られる工夫がなされている。「Our Project」では、各Programで学んだ表現や習得した知識を使って、対話的に活動を行えるよう設計がされている。</p> <p>(ウ) 日本の伝統文化や異文化、自然科学など題材が多岐にわたり生徒のよりよい人間性を育む工夫がなされている。また、「Scenes」では漫画形式の短い対話で構成されており、生徒が自主的に学習を行えるよう工夫がなされている。</p>
3	三省堂	<p>(ア) 「Scenes」では基本的な新出文法について簡潔にまとめられている。また、「Language Focus」では、図解なども用いながら、単元内での重要な文法が分かりやすくまとめられており、知識・技能の習得に向けた工夫がなされている。</p> <p>(イ) 「Small Talk Plus」では、会話を続けることを意識しながら、トピックトークに取り組むことができるよう工夫されている。</p>

		<p>また、学年に3回、学んだことの集大成として「Project」が用意されており、複数の技能を統合的に活用して取り組めるよう設定されている。</p> <p>(ウ) 巻頭には、教科書の「しくみと学び方」が示されており、1年間の学習の見通しが立てられるよう工夫されている。内容についても、社会問題や国内外の文化・芸術についてなど、国際色豊かな題材となっており、生徒が広い視野を持てるよう工夫されている。</p>
4	教 出	<p>(ア) 新出文法については「Key Sentence」を簡潔に紹介した上で、使い慣れていくための「Tool Kit」が設けられている。また「Grammar」では單元ごとの文法・文構造が既習事項と関連を持たせてまとめられており、生徒が知識・技能を定着させるための手立てが段階的に設けられている。</p> <p>(イ) 各パートの「Think &amp; Try!」や「Read &amp; Try!」で本文の内容や表現への理解を深め、「Task」の自己表現活動につなげるよう構成されている。また、「Project」では、自分の考えを書いたり、グループで議論したりと、複数の技能を統合的に活用する活動が用意されており、思考力や判断力、表現力等を育成するための工夫がなされている。</p> <p>(ウ) 巻末に「Can-Do」自己チェックリストがあり、生徒が自身の4技能の到達度を振り返ることができるよう工夫されている。また、生徒がアクセスできる「まなびリンク」では、生徒の多様な興味や学びを促すよう工夫されている。</p>
5	光 村	<p>(ア) 各パートの会話文の隣のページに新出の文法内容がコンパクトにまとめられている。また、いくつかの単元の最後に「Active Grammar」というコーナーがあり、簡潔に單元内での文法内容の基本文がまとめられている。</p> <p>(イ) 「Speak」や「Write」では、新出の表現を使ってペアワークが展開できるよう工夫されている。また、各単元の最後の「Goal」は、目的・場面・状況が明確に設定された上での発話活動となっており、グループワークなどで実際的な会話に取り組めるよう設計されている。</p> <p>(ウ) 各パートの会話文や読み物が身近な日常生活に即しており、会話の流れも自然であることから、生徒が親しみを持って読むことのできる内容となっている。巻末に「学び方ガイド」というコーナーがあり、教科書を使って家庭でどのように学習に取り組むと良いか紹介されている。4技能ごとに学び方のコツもまとめられており、自主学習を促す工夫がなされている。</p>
6	啓林館	<p>(ア) 各パートに新出文法を含む基本文とその解説が簡潔に記されている。また「Listen」や「Speak」、「Write」など技能ごとの学</p>

		<p>習があることで、生徒の知識・技能を着実に習得させる工夫がなされている。</p> <p>(イ) 各パートに「Express Yourself」という自己表現活動が設定されており、ペアワークなども交えながら、「Writing」や「Speaking」活動を充実させることができるよう工夫されている。</p> <p>(ウ) QRコードで生徒自身が単語や本文を聞くことができ、自発的な学習を促す工夫がなされている。また、題材の背景知識の紹介も充実しており、生徒が異文化理解に興味・関心を持てるよう工夫されている。</p>
--	--	--

【調査の観点】

伊奈学園中学校の教育方針・教育目標の視点（中高一貫校の特色を含む。）を踏まえ、以下の観点で調査研究を行う。

○ 特別の教科 道徳

- (ア) 現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での効果的な工夫がなされていること。
- (イ) 発達の段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成するための効果的な工夫がなされていること。
- (ウ) 「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する効果的な工夫がなされていること。

【道徳】

No.	発行者の略称	調査研究結果
1	東 書	<p>(ア) 「いじめ問題」や「情報モラル」について、イラストや漫画、グラフ等を活用した教材を通して、考えが深まるよう工夫されている。各学年に「生命の尊さ」に関する教材を配置し、防災教育と道徳を合わせた教材が掲載されている。</p> <p>(イ) 人物教材が充実している。様々な生き方や考え方に触れることで、自分の将来やキャリアについて考えることができるよう工夫されている。道徳の授業で長く親しまれてきた教材が取り上げられている。教材を通して、人間としての生き方を深く考えることができるよう工夫されている。</p> <p>(ウ) 話し合う活動を「哲学対話」として取り扱い、全学年で行うよう構成されている。また、役割活動ができるコラムも全学年にあり、教材のある場面を演じることで登場人物の気持ちを体験した上で、議論できる構成となっている。</p>
2	教 出	<p>(ア) 「いじめをなくそう」、「つながり合って生きる」、「いのちをかがやかせる」をテーマとし、複数の教材とコラムを組み合わせたユニットが設定されている。現代的な課題について重層的に深められるよう工夫されている。</p> <p>(イ) 教材末に「学びの道しるべ」が設けられ、三つの問いを通して段階的に道徳的価値の理解を深め、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てることができる工夫がされている。</p> <p>(ウ) 教科書内に適宜記入欄を設けたり、キャラクターによる発言例を示したりするなどして、自分の考えをまとめ、それを基に話し合う言語活動を充実させるための工夫がある。「問題解決的な学習」に適した教材があり、考え、議論することで、物事を多面的・多角的に考えることができるよう工夫されている。</p>
3	光 村	<p>(ア) 「いじめ問題」や「情報モラル」について、生徒自身に関わる身近な問題を取り上げた教材が掲載されている。生徒が自ら問いを立て、考えられるよう工夫されている。全学年に「防災」</p>

		<p>をテーマとした教材が掲載され、生徒の防災意識を高められるよう工夫されている。</p> <p>(イ) 系統や学習内容、狙いを分かりやすく示しているページが設けられている。生徒にとって1時間の授業がイメージしやすいよう、「学習の手引き」が設けられている。教材の読み取りに偏ることなく、狙いに即した考えや話し合うことを学習の中心に捉えている構成である。</p> <p>(ウ) 道徳的な問題が起こっている場面そのものを、挿絵と短い文章で端的に示した教材が設けられている。「まなびをプラス」では、学習した内容とは別の視点が示されており、生徒自身が自分の考えをより深められるよう工夫されている。</p>
4	日 文	<p>(ア) 「いじめ問題」、「多様性、SDGs」に関する教材が設けられている。特に、「いじめ問題」については、生徒が主体的に考えられるよう教材が工夫されている。適切な時期に学べるユニット「いじめと向き合う」として配置されている。3年間を通して、一人一人が自分事として捉えられるよう工夫されている。</p> <p>(イ) 各学年、「学びを深めよう」が複数配置されており、問題解決的な学習等の流れと資料が提示されている。生徒にとって学びの見通しや思考の広がり・深まりにつながる構成となっている。</p> <p>(ウ) 教材場面の役割演技ができるページがあり、生徒自身が活動を通して、道徳的価値を多面的・多角的に捉えることができるよう工夫されている。</p>
5	学 研	<p>(ア) 多様性を大きなテーマとし、様々な視点で考えられる教材が掲載され、多様な考えを引き出せるよう工夫されている。具体的な人物や事象を取り上げた教材と、適度に抽象化された架空の教材とがバランスよく配置されている。</p> <p>(イ) 様々な分野で活躍する、今を生きる人たちに関係する教材や、人生の足跡からたどる学びの宝庫である先人たちに関係する教材など、生徒が興味・関心を持って学べるような教材が掲載されている。導入やまとめの場面で取り入れやすい資料（クローズアップ）が掲載されている。</p> <p>(ウ) 巻頭の「道徳科で学ぶこと 考えること」で、道徳授業の流れ「考えを深める4つのステップ」を確認することができるよう構成されている。このステップ順に学びを行うことで、より充実した対話ができるよう工夫されている。「深めよう」が考えを深めていく道筋を示したり、思考を可視化したりして、議論する学習活動になるよう工夫されている。</p>
6	あか図	<p>(ア) 現代的課題について重点的に深められるようユニット化されている。学年ごとに連続して複数の教材が設けられている。具体</p>

		<p>的に実社会の出来事を取り上げて、生徒が道徳的な課題を身近に感じ、理解を深めることができるよう工夫されている。</p> <p>(イ) 生徒がフラットに教材に出会えるように、冒頭部分には内容項目の視点のみ掲載されている。生徒は主体的に教材と向き合い、考えを深めていく工夫がされている。「自分をみつめて考える」は主体的な学びを促すよう工夫されている。</p> <p>(ウ) 本質的に大切なことを考えさせる題材が配列されている。「考えをふかめる」は、様々な視点を設けることで対話的な学びを促すよう工夫されている。「考え、議論する道徳」を通して、道徳的な価値に照らして更なる思考や対話を促すよう工夫されている。</p>
7	日 科	<p>(ア) 「情報モラル」については、生徒にとって現実味のある教材を取り上げ、身近に起こりうるネットトラブルから、どう身を守るかを喫緊の課題として捉えられるよう工夫されている。「いじめ問題」については、学校生活の中で、「いじめ」に陥りやすい場面が掲載されており、生徒が自分事として捉えられるよう工夫されている。</p> <p>(イ) 教材の視覚化（動画や漫画教材）が図られている。考えてほしいことや狙いが明確になり、教材のテーマに向かって学びが進められるよう工夫されている。「キャリア形成」に関する教材は、発達の段階に考慮し、1年次「自己理解」、2年次「自己啓発」、3年次「自己実現」と生徒の発達の段階に対する配慮がなされている。</p> <p>(ウ) 構成が、「導入→本文1→本文2→終結」となっており、話し合い中心の時間になるように工夫されている。教材学習後の発問「考えよう」、「深めよう」で、自分の考えを深めたり、他の生徒の考えを聞いたり、議論したりすることができるよう工夫されている。</p>

## 県立伊奈学園中学校使用教科書令和6年度評価一覧

教科	種 目	評 価
	発行者の略称	
国語	国語	<p>学習指導要領の内容をどのように捉え、教科書にしたのかという編さんの意図や方針が明確で、授業者にとって使いやすい。このことはデザインにも表れ、系統性や関連性、共通性などが生徒にも直感的に捉えやすい。教材文がどれも、その学年に学ぶべき典型としてふさわしい内容や難易度を備えている。フォントの種類やサイズ、行間なども学習者に使いやすいよう工夫されている。</p>
	光 村	
	書写	
	光 村	
社会	社会(地理的分野)	<p>地理的な見方・考え方について具体例を用いながら端的に示されており、生徒が地理を学習するに当たり、理解を深めるきっかけになった。豊富な写真や地図、グラフが用意されているので、資料を用いて生徒の対話を充実させることができた。</p>
	帝 国	
	社会(歴史的分野)	<p>歴史の流れを理解しやすくなっており、基礎的な知識の定着を図ることができた。また、資料が豊富なため、生徒の歴史に対する見方・考え方を養うことができた。見開きごとの「学習のまとめ」に取り組むことで、授業ごとに生徒の思考力・判断力・表現力を高めることができた。</p>
	育鵬社	
	社会(公民的分野)	<p>学習内容と自分の人生や社会とのつながりを感じられるような教材が多く、物事を多面的・多角的に考えられる深い話し合いや学びにつなげることができた。社会的事象を自分事として捉えることができ、基礎的知識の定着と基礎的教養を育むことができた。</p>
	育鵬社	
地図	<p>ワンポイント解説が載っているため、生徒の理解を深める重要な要素となっている。また、資料図には「さらに深めた解説」として、図を読み取る作業ができる点や図の背景の解説も載っているため、グループワークを通して、対話的で深い学びにつなげることができた。</p>	
帝 国		
数学	数学	<p>論理的思考を養う上で重要な証明指導について、結論から思考をたどる紙面構成が生徒にとって分かりやすい工夫となっている。各単元の始めには関連の強い既習事項が配置されており、生徒が学びの系統性を意識するとともにその内容を想起しながら学習を進められる工夫がなされている。</p>
	数 研	

理科	理科	基本的に、全てのページが探究の過程「自然現象に対する気づき⇒問題の設定⇒仮説の設定⇒検証計画の立案⇒観察・実験の実施⇒結果の処理⇒考察・推論（⇒表現・伝達）」に沿っている。そのため、生徒にとって、自宅でも教科書に沿って普通の授業と同じように、予習や復習等の家庭学習に努めることができるようになっている。全体的に資料となる画像が多く、時間や実験器具等の関係で、実験や観察を実施できない場合においても、資料を基に学習を進めるなど、教科書を効果的に活用できる構成になっている。
	東書	
音楽	一般	「深めよう！音楽」で、音楽表現や主体的に学ぶための過程が示されており、音楽科における資質・能力を確実に身に付けることができた。生徒自身が学びを自覚できるような手立てが工夫されていて、本校生徒が自分の考えをワークシートに書き込み、整理しながら学習を進めることができた。
	教芸	
美術	器楽合奏	演奏者からのメッセージが掲載されており、曲の特徴や魅力が分かりやすかった。それにより、生徒の学習意欲が刺激された。音楽そのものや、生活や社会の中の音や音楽について考える内容が幅広く、音楽に対する興味・関心が高まった。「深めよう！音楽」でイラストの吹き出しがその曲の特徴について説明していて、本校生徒の思考力・判断力・表現力等を高めることができた。
	教芸	
美術	美術	「造形的な視点」で〔共通事項〕を意識できるような問い掛けを示し、形や色彩などについて考えられるようになっていて、生徒が自ら学びたい内容となっていた。生活や社会に結び付けた題材が多く掲載されており、美術の学びや生活が社会の場面とつながることを生徒が意識することができた。また、工芸の内容が充実しており、生徒の興味・関心を高められた。
	日文	
保健 体育	保健体育	テキストのフォントが大きく視覚的に認識しやすい。関連する内容についてイラスト等が多く掲載されているなど、生徒が理解しやすい工夫がされている。
	大修館	
技術 ・ 家庭	技術分野	教科書が学びやすい構成になっている。各内容とも最初に基本的な知識の学習を行い、その後「問題解決の手順」、「技術による問題解決」について学習する構成となっている。また、どの単元も学習の流れを「問題解決の流れ」として見開きで表記しており、生徒の思考力、判断力、表現力等を育成する教材として活用することができた。
	開隆堂	
技術 ・ 家庭	家庭分野	実習・実験題材や、教室内でのグループ・ディスカッション、ディベート、グループワーク等、毎時間、対話的な学びができるような工夫がされている。本校では、授業内で意欲的に発言する生徒が多い。授業内で対話的な学びを多く取り入れており、教科書の構成と生徒の実態が合致している。振り返りを記述する欄もあり、自分の言葉で学習を振り返る活動が行えた。
	開隆堂	



英語	英語	使用されている題材が生徒の興味・関心を引くものが多く、生徒が前向きに学習に取り組める工夫がされている。また、授業内で対話的に学習に取り組む活動が多く取り入れられている。さらに、言語材料が単元ごとにまとめられており、生徒が自発的に復習に取り組める内容となっている。
	開隆堂	
道徳	道徳	定評のある教材を多く残していることで、これまでの道徳教育で培われてきた授業実践を生かしてより良い教材研究をすることができる。教材末の「考える・話し合う」も適切な内容である。巻末に付属している「中学生の道徳ノート」は、前半には補助的な読み物が充実している。後半は自由に記述しやすく、書く量も十分になっている。記述しやすい構成となっている。
	あか図	

## 根拠法令

義務教育諸学校の教科用図書は無償措置に関する法律（昭和38年法律第182号）（抄）

## 第3章 採択

## （教科用図書の採択）

- 第13条 都道府県内の義務教育諸学校（都道府県立の義務教育諸学校を除く。）において使用する教科用図書の採択は、第10条の規定によつて当該都道府県の教育委員会が行なう指導、助言又は援助により、種目（教科用図書の教科ごとに分類された単位をいう。以下同じ。）ごとに一種の教科用図書について行なうものとする。
- 2 都道府県立の義務教育諸学校において使用する教科用図書の採択は、あらかじめ選定審議会の意見をきいて、種目ごとに一種の教科用図書について行なうものとする。
- 3 公立の中学校で学校教育法第71条の規定により高等学校における教育と一貫した教育を施すもの及び公立の中等教育学校の前期課程において使用する教科用図書については、市町村の教育委員会又は都道府県の教育委員会は、

前2項の規定にかかわらず、学校ごとに、種目ごとに一種の教科用図書の採択を行うものとする。

(同一教科用図書を採択する期間)

第14条 義務教育諸学校において使用する教科用図書については、政令で定めるところにより、政令で定める期間、毎年度、種目ごとに同一の教科用図書を採択するものとする。

義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令（昭和39年政令第14号）（抄）

(同一教科用図書を採択する期間)

第15条 法第14条の規定により種目ごとに同一の教科用図書を採択する期間（以下この条において「採択期間」という。）は、学校教育法（昭和22年法律第26号）附則第9条第1項に規定する教科用図書を採択する場合を除き、4年とする。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）（抄）

第3章 教育委員会及び地方公共団体の長の職務権限

（教育委員会の職務権限）

第21条 教育委員会は、当該地方公共団体が処理する教育に関する事務で、次に掲げるものを管理し、及び執行する。

六 教科書その他の教材の取扱いに関すること。